



オンラインでの「場」の繋がり・・・1	令和3年度第17回通常総会書面による議案採択の報告・・・5
薬膳素材についての注意事項2・・・2・3	一人で歩く中国医書の世界9・・・6
高原の森からの薬草だより2・・・3	会員の声・・・7
眩暈（高血圧症等）の中医薬治療・・・4・5	各部報告/編集後記・・・8



オンラインでの「場」の繋がり
日本国際薬膳師会副会長 市川兼二郎

いまだに終息を見ない新型コロナウイルス禍において、私たちの活動は、昨年より制限を強いられてきました。かつて経験したことの無いこの禍は、我々の活動にも大きく影響を与え、会として最も重要な年次総会も昨年と同様に中止に追い込まれました。また、毎年行われる一大イベントの設立記念講演会も中止せざるを得なかったことは、記憶に新しいと思います。本当に申し訳なく思っております。

しかし、今期からこのような状況を解消する手段の一つとして、オンラインツール（“ZOOM”）導入を決定しました。これからは、様々な活動や情報を、全国にいる会員の皆様に提供できるようになります。

さて、このZOOMの良い点は“繋がれる”ということだと思います。今まで会に属していても、イベントや会議などに参加しなくとも遠距離とか、日程が合わない等の理由で、参加できない会員が多くいました。このような事に我々は、じくじたる思いを持っていました。しかし、今後はこのZOOMというオンライン機能を使うことにより、そのようなことは、解消されることになるでしょう。

対面での会議やイベントあるいは各種講座などは、現実的空間として大切な役割を果たしますが、オンライン空間ではそれらの活動は安全な“場”での対話として重要な役割を果たすこととなります。人が繋がる方法には二つあると思います。一つは、同じ“場”に居合わせ、同じ事柄を一緒に行い、同じことに同調し一体感を相互に持って繋がるということ。もう一つは場所の共有は無いが、お互いが率直に意見及び表現を出し、多様な視点や観点を持ち寄ることで協力し

様々な事柄に対して知見を広げることによって繋がるといえます。前者は、一緒に同じ動きをする必要があります。一緒に講座に参加したり、料理を作ったりする方法で、参加者全員が同調することを助けられます。この繋がりが「同調による一体感」を生み出すと謂われる所以です。しかし、後者の身体を使わないオンラインによるコミュニケーションは、この「同調による一体感」を起こすことは難しいと思いますが、参加者の多様性が広がれば、知見の集合の一体感を生み出すことができると思います。既にオンラインで、何かしらの繋がりを持った経験がある方には分かることだと思いますが、普段考えたこともない様な視点や観点到触れることで刺激を受け、大いに学ばされ、気づいた経験を持たれた方もいると思います。この学びと気づきに価値を見出し、それを生み出したお互いの存在に尊重の気持ちが生まれれば、繋がりが生まれオンライン空間に“もう一つの場”が生まれると思います。

日本国際薬膳師会も、会員数が500名を超える団体になり、今では会員が、北海道から沖縄まで広範囲に渡り在籍されていますし、最近では、海外在住の方まで在籍されるようになってきました。このような方々にも、ぜひとも繋がりを保持してもらい、多様性に富んだ意見交換をしてもらうことを大いに期待する所存です。遠くに居ても、会の活動に参加できるようにすることは、素晴らしいことだと思います。

新型コロナウイルス禍の影響を悲観することなく、ピンチをチャンスに変えていくのがまさに、今のこの時だと思えます。ZOOM機能はそのチャンスをつかむ“場”の創出です。この“場”の広がりがこそが、更なる日本国際薬膳師会の発展に繋がると思えます。ぜひ、今後の会の活動に期待して頂きたい。皆様の更なる健康を心よりお祈りいたします。

各部報告・お知らせ

▲総務部:

- 「第 17 回通常総会」開催中止に伴い、320 を超える「書面評決書」を返送いただき、ありがとうございました。葉書を整理し、名簿に移す作業中です。中には直接ご意見、ご要望が書かれているものがあり、うれしく思います。ご要望として「講演会などのオンライン配信を」と書かれているものが数件ありました。役員一同、皆様の声を生かしつつ会の運営に当たりたいと思います。

▲学術部:

- 今年度ステップアップ研修：第 1 回目 6 月 18 日（金）、「鬱証」をテーマに 22 名が参加しました。深刻な社会問題となっているコロナ鬱にもつながる内容で、多くの方剤、食薬について学びました。第 2 回は 9 月 10 日（金）「眼精疲労」、第 3 回は 10 月 8 日（金）「味覚障害」をテーマに開催予定です。席に少し余裕があります。ぜひご参加下さい。

- ▲広報部：「くこ」56 号（8 月 1 日）発行。57 号（12 月 1 日）・58 号（令和 4 年 4 月 1 日）発行予定。

▲事業部:

- 日本国際薬膳師会設立記念講演会
演題： 「アフターコロナの未病対策」
講師： 渡辺 賢治先生（修学堂大塚医院院長 慶応義塾大学医学部漢方医学センター客員教授）
日時： 令和 3 年 11 月 23 日（火・祝）14:00～ 開場 13:30
場所： エッサム神田ホール 1 号館 301 会費 2000 円
方法： 参加は会場またはオンライン（詳細はチラシ参照）
- 日本国際薬膳師会設立 15 周年記念誌、レシピ集等の販売。
申込用紙に必要事項を記入し下記へ FAX で申込、入金確認後発送。
①設立 15 周年記念誌（1500 円）、レシピ集（2000 円）
②「体質診断・食材早見表」（300 円）
③「薬膳の基礎早見表」（800 円）
④「8 つの体質と食薬早見表」（600 円）
◆問合せ及び申込先 ①は FAX 045-622-0584
②③④は FAX 045-844-9530
◆入金先
・ゆうちょ銀行以外から（店番 018）普通 9888805 日本国際薬膳師会
・ゆうちょ銀行から 10110 - 98888 51 日本国際薬膳師会



▲交流部:

- 日本国際薬膳師会設立記念講演会后、食事会を予定。
- 秋に都立薬用植物園の見学会を予定。「深呼吸」をして、五臓六腑、四肢百骸に気を送りこみましょう。

▲IT部:

- 「食薬同源」のサイトでは「私の街のおすすめ食材」「薬膳インタビュー」「暮らしの中の身近な食薬」を掲載しています。すでに 24 名以上の会員の皆様と繋がっています！
- 新コーナー「ワンポイント食養生」の掲載を開始。中医学の四字成語をワンポイントで解説します。
- 「今月の薬膳」では、新テーマ「五臓の機能を高めて感染症に負けない身体」を掲載中です。
- 中部地区特別講演会 ZOOM 開催のサポートを行いました。ZOOM セミナー開催に協力しています。

▲認定部:

ホームページ「今月の薬膳」では、2021 年 6 月より新テーマ「五臓の機能を高めて感染症に負けない身体」の掲載が始まりました。皆様の投稿をお待ちしています。 nintei-bu@yakuzenshi-kai.jp

編集後記

くこ編集作業後半の今、梅雨に入りました。いつものように季節は巡ってきて、時の流れは変わりません。しかし、新型コロナウイルス（COVID-19）は、強力な変異株が現われ、まだ終息の兆しは見えません。このような日々、会の活動は、オンラインを導入し皆様の要望に応じていけるよう奮闘中です。いつもの夏より暑い夏になりそうです。N.S